

2009年6月

J E C 会 員 へ の お 知 ら せ と お 願 い

- 「 J E C ニ ュ ー ス レ タ ー 」 (通 算 第 3 3 号) -

JEC 理事長：淡路剛久、JEC 事務局長：寺西俊一

JEC 事務局 ML アドレス (jec-hq@einap.org)

JECHP (<http://www.einap.org/jec/>)

2009 年度に入り、早くも 6 月を迎えています。JEC 会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと存じます。この間、会員の皆様には、JEC の準機関誌である『環境と公害』誌 (岩波書店) の第 38 巻第 1 号 ~ 第 38 巻第 4 号を郵送サービスするとともに、JEC 会員 ML を通じて、同 ML 登録者の皆様には、その都度、関連情報や案内等を配信させていただきました。今回の「 J E C ニ ュ ー ス レ タ ー 」 (通 算 第 3 3 号) では、この 1 年における JEC の主な活動報告と合わせて、幾つかの重要なお知らせをさせていただきます。

1 . 「 第 26 回 日 本 環 境 会 議 水 島 大 会 」 の 開 催 報 告

昨年 (2008 年) の 9 月 20 日 (土) ~ 22 日 (月) 岡山県倉敷市の倉敷芸術科学大学を会場に「第 26 回日本環境会議水島大会」を開催し、韓国・マレーシアからの招待者を含め、延べ 500 名の参加がありました。この大会では、「環境再生と健康なまちづくり」という全体テーマのもとに、第一日目の 9 月 20 日 (土) 午後には、大気汚染公害地域において環境再生まちづくりの活動をおこなう開催地、水島の取り組みの紹介、第二日目の 9 月 21 日 (日) 午前・午後には、3 つのテーマ別分科会 (「大気汚染被害者の救済をめざして」、「臨海部のまちづくり」、「公害経験とアジアへの発信」) が行われました。

> この「水島大会」の詳細は、『環境と公害』第 38 巻第 3 号 (2009 年 1 月号) の特集、および、JEC のホームページ (<http://www.einap.org/jec/>) に掲載されています。

2 . 「 大 気 汚 染 被 害 者 救 済 制 度 検 討 会 」 の 中 間 報 告 書 、 お よ び 市 民 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム の 開 催 報 告

2007 年 11 月から日本環境会議事務局のもとに設置してきた「大気汚染被害者救済制度検討会」の中間報告書 (『大気汚染の改善と被害者救済をめざして』) が今年 (2009 年) 1 月にまとめられました。また、この中間報告書での提言内容をめぐって、今年 (2009 年) 3 月 29 日 (日) 日本環境会議・大気汚染被害者救済制度検討会および全国公害弁護団連絡会議の共催で、市民公開シンポジウム (「新たな大気汚染公害被害者救済制度をめざして」) が「ホテルはあといん乃木坂」(東京・港区) で開催され、約 150 名が参加し、活発な意見交換が行われました。

> この中間報告書の内容は、『環境と公害』第 38 巻第 3 号 (2009 年 1 月) の特集 (「いまだ続く大気汚染被害の救済を」) として、また、このシンポジウムの模様は、JEC のホームページ (<http://www.einap.org/jec/>) に掲載されています。

3 . 日 本 環 境 会 議 (J E C) 企 画 協 力 の 市 民 公 開 講 演 会 & シ ン ポ ジ ウ ム の 開 催 報 告

去る 4 月 18 日 (土) 日本環境会議 (JEC) 企画協力の形で、「今日の経済危機と環境危機をどう乗り越えていくか」をテーマとした市民公開講演会 & シンポジウムが一橋大学で開催され、300 名以上の参加者がありました。JEC 顧問の宇沢弘文教授、JEC 理事の吉田文和教授がそれぞれ記念講演を行い、JEC 名誉理事長の宮本憲一教授がコメンテーターとして登壇しました。

> この模様は、JEC のホームページ (<http://www.einap.org/jec/>) に掲載されています。

4. 「第9回アジア・太平洋NGO環境会議」(京都会議) & JEC30周年記念大会(尼崎大会)の開催案内

前回の「ニュースレター」で予告してありましたが、今年(2009年)11月20日(金)~23日(月)にかけて、「第9回アジア・太平洋NGO環境会議(APNEC9)」「京都会議」および、JEC30周年記念大会(尼崎大会)の開催が予定されています。本件に関する今後の詳細情報は、適宜、JEC会員MLでの案内配信、および、JECのホームページ上でお知らせいたします。

【重要!】

11月下旬は観光シーズンのため宿泊ホテルの確保がきわめて困難です。そこで、同封の「APNEC9(京都会議)&JEC30周年記念大会(尼崎大会)の参加&宿泊予約アンケート」(回答返信用紙)にて、先行的に、JEC会員の皆様の宿泊予約を受け付けます。事務局手配の宿泊先予約を希望される人は、6月末日(期限厳守!)までに、必ず、この回答返信用紙に必要事項をご記入の上、JEC事務局(寺西)までご送信くださるよう、お願いいたします。

5. 「JEC30周年記念事業」および「記念募金」へのご協力をお願い

日本環境会議(JEC)は1979年6月に発足し、今年(2009年)6月に満30周年を迎えています。この間、国内外の環境問題の解決をめざして学際的・国際的な取り組みを進め、なかでも調査研究活動、それらにもとづく政策提言、出版活動等を重視しながら、関係諸分野の専門家、NGOや市民グループ、関係諸機関等との幅広い協力・連携のネットワークづくり、公開の大会、シンポジウム・講演会・セミナー・研究会等の開催など、多岐にわたる諸活動を続けてきました。今年30周年を記念して、JEC会員の皆様には、以下の「2つのお願い」を申しあげます。

JEC会員拡大へのご協力をお願い> JEC会員は、現在、約430名ですが、上記のJEC30周年記念大会までに500名以上の会員数を達成したいと思います。周りの関係者にJEC入会をお勧めください。

「JEC30周年記念募金」へのご協力をお願い> 同封別紙のとおり、募金活動を開始します。JECの今後の活動を支える資金基盤の確立のために、どうぞ、よろしくご協力をお願いいたします。

6. 「アジア環境白書」シリーズの編集・刊行について

当初予定よりも遅れていますが、「アジア環境白書」シリーズの第4弾にあたる『アジア環境白書2006/07』(東洋経済新報社)の英語版編集作業、および、同シリーズの第5弾(2009/10年版)の編集作業を進めています。それぞれ今秋刊行をめざしていますが、JEC会員の皆様には、引き続き、このシリーズの宣伝・普及・活用等にご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

7. JEC会費納入のお願いについて

今年度(2009年度)のJEC会費(年額6000円。学生会員は年額4000円に割引。2008年度以前の会費滞納がある場合はその分も合わせて)のご請求をさせていただきます。速やかな会費納入のほど、どうぞ、よろしくお願いいたします。

(同封物一覧)

- < 1 > 「JEC会員へのお知らせとお願い」(「JECニュースレター」通算第33号)(本状)(A4:2頁)
- < 2 > 「第9回アジア・太平洋NGO環境会議」(APNEC9)(京都会議) & JEC30周年記念大会(尼崎大会)の開催プログラム案内(A4:6頁)
- < 3 > 「APNEC9(京都会議) & JEC30周年記念大会(尼崎大会)の参加&宿泊予約アンケート」(回答返信用紙)(A4:1頁)
- < 4 > 「JEC30周年記念事業および記念募金へのご協力をお願い」(A4:2頁) + 「記念募金振込用紙」
- < 5 > 「JEC会費の納入のお願い」 + 「会費納入振込用紙」